

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.166

2016年2月3日

発行所 兵庫教育文化研究所
〒650-0004
神戸市中央区中山手通4-10-8

戦争を起こさないために 平和教育部会 授業研究会

平和教育部会が、西宮市の小学校において平和学習の授業研究会をおこないました。6年生の総合的な学習の時間で、単元名は「平和について考えよう ～絵本『六にんの男たち』から歴史と政治を考える～」でした。2時間の指導計画で、前時には絵本のどの場面が戦争のきっかけとなったのか、また、日本の歴史の中に似た場面がなかったかを考える学習をされていました。

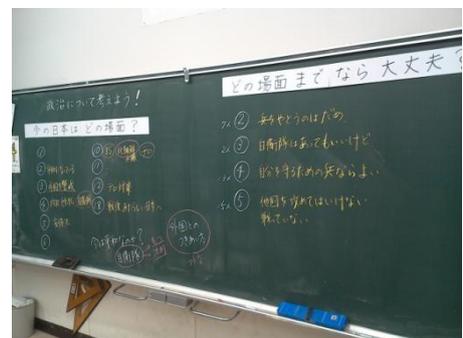


本時は、「現在の日本は絵本のどの場面にあたるのか」、また「どの場面までなら平和であると言えるのか」を考えました。班ごとにタブレットも活用しながら交流する意見の中には、日本の安全保障法制や自衛隊に関するものもあり、関心の高さを感じるとともに、おとなが普段から子どもたちにどう関わるかという姿勢を改めて振り返りました。

研究協議では、二つの発問の順序を変えることで今の日本についてより深く考えることができるのではないかという意見や、絵本が作られたイギリスと日本の平和に関する考え方の違いについての意見などが交流されました。

共同研究者からは、以下のような助言がありました。

- 政治に関わる学習では「中立性」が話題になるが、提示する材料のバランスを取るなど、ある意見だけを押しつけないことが大事ではないか。意見がいろいろ出るのはいい状態で、出なくなる、出しにくくなることは問題である。
- 子どもたちにとって平和を実感できるのは、家庭や学校が平和であること。おとなにとっての平和とは少し違っている。この学習をした子たちが選挙権を持ったときにどうするか。



本時の授業だけに限らず、各参加者の平和学習へのとりくみを幅広く交流し、「今の時代だからこそ子どもたちとともに平和について考えることが必要だ」と参加者一同で再確認した授業研究会となりました。(本授業の指導案等は「組合員専用ページ」に掲載しています。ID、パスワードは各支部へお問い合わせください。)